



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日 東

上場会社名 株式会社コンテック 上場取引所
 コード番号 6639 URL <https://www.contec.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井狩 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 柴原 正治 (TEL) 06-6472-7130
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,067	△9.6	480	△37.5	489	△36.2	705	23.4
2019年3月期第2四半期	13,347	5.6	768	23.2	767	25.5	571	36.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 85百万円(△88.2%) 2019年3月期第2四半期 725百万円(84.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	107.66	—
2019年3月期第2四半期	87.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,811	10,789	51.8
2019年3月期	21,874	10,795	49.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 10,789百万円 2019年3月期 10,795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△6.8	1,500	△17.6	1,490	△18.0	1,450	△10.4	221.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,600,000株	2019年3月期	6,600,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	45,531株	2019年3月期	45,531株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,554,469株	2019年3月期2Q	6,550,720株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの影響を受けて、景気減速懸念が高まってまいりました。

このような状況の中、日本市場におきましては、企業の設備投資が低調に推移した影響を受け計測制御用ボードの売上が減少いたしました。また、半導体市場の減速に伴い制御機器製品の売上が減少いたしました。一方で、IoT市場向け製品「CONPROSYS[※]」の売上については増加いたしました。

米国市場におきましては、医療機器関連向け及び空港セキュリティ関連向けに産業用コンピュータの販売が好調に推移いたしました。

この結果、当社グループの売上高は12,067百万円(前年同期比9.6%減)となりました。利益面につきましては、売上の減少などに伴い、営業利益は480百万円(前年同期比37.5%減)、経常利益は489百万円(前年同期比36.2%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却による特別利益計上により705百万円(前年同期比23.4%増)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

※ CONPROSYS：当社がIoT市場向けに開発した製品。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は20,811百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,062百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の減少692百万円、売上債権の減少420百万円、現金及び預金の減少383百万円、たな卸資産の増加284百万円、繰延税金資産の増加157百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は10,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,056百万円減少いたしました。これは主に仕入債務の減少379百万円、借入金の減少349百万円、その他流動負債の減少369百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は10,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少472百万円、為替換算調整勘定の減少125百万円、退職給付に係る調整累計額の減少21百万円、利益剰余金の増加613百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ383百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は108百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益989百万円、投資有価証券売却益480百万円、減価償却費192百万円、たな卸資産の増加による506百万円の支出、仕入債務の減少による346百万円の支出、法人税等の支払による285百万円の支出、売上債権の減少による647百万円の収入であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は313百万円となりました。主な内訳は、投資有価証券売却による492百万円の収入、固定資産取得による180百万円の支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は542百万円となりました。主な内訳は、借入金の返済による350百万円の支出、配当金の支払による164百万円の支出であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月9日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,245,631	2,861,900
受取手形及び売掛金	5,640,089	5,219,496
商品及び製品	2,371,700	2,437,643
仕掛品	1,485,744	1,643,394
原材料及び貯蔵品	3,181,957	3,242,627
その他	143,468	152,086
貸倒引当金	-	△7,596
流動資産合計	16,068,591	15,549,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	797,228	753,786
機械装置及び運搬具(純額)	76,151	67,107
工具、器具及び備品(純額)	160,784	148,978
土地	1,389,919	1,389,919
リース資産(純額)	-	60,523
建設仮勘定	971	39,506
有形固定資産合計	2,425,055	2,459,822
無形固定資産		
のれん	1,209,370	1,109,641
ソフトウェア	453,785	450,202
その他	56,783	96,967
無形固定資産合計	1,719,939	1,656,810
投資その他の資産		
投資有価証券	957,053	264,762
長期貸付金	19,919	17,927
繰延税金資産	288,627	445,971
退職給付に係る資産	324,966	346,672
その他	90,008	87,994
貸倒引当金	△19,919	△17,927
投資その他の資産合計	1,660,656	1,145,401
固定資産合計	5,805,651	5,262,034
資産合計	21,874,243	20,811,588

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,547,909	4,168,287
短期借入金	1,249,566	1,000,357
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
リース債務	-	41,283
未払法人税等	276,221	195,881
その他	1,690,886	1,321,564
流動負債合計	8,764,584	7,727,374
固定負債		
長期借入金	1,400,000	1,300,000
リース債務	-	19,529
退職給付に係る負債	891,938	947,500
その他の引当金	21,720	27,098
その他	-	670
固定負債合計	2,313,659	2,294,798
負債合計	11,078,243	10,022,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,600	1,119,600
資本剰余金	103,909	103,909
利益剰余金	8,274,951	8,888,296
自己株式	△32,256	△32,256
株主資本合計	9,466,204	10,079,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624,320	151,933
為替換算調整勘定	701,667	575,777
退職給付に係る調整累計額	3,806	△17,845
その他の包括利益累計額合計	1,329,794	709,865
純資産合計	10,795,999	10,789,415
負債純資産合計	21,874,243	20,811,588

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	13,347,238	12,067,960
売上原価	9,927,121	9,059,469
売上総利益	3,420,116	3,008,490
販売費及び一般管理費		
販売費	1,354,319	1,286,315
一般管理費	1,296,919	1,241,783
販売費及び一般管理費合計	2,651,238	2,528,099
営業利益	768,877	480,390
営業外収益		
受取利息	1,746	1,997
受取配当金	9,438	7,653
為替差益	10,737	7,381
受取賃貸料	3,301	3,301
その他	1,155	3,025
営業外収益合計	26,379	23,360
営業外費用		
支払利息	17,500	13,525
貸倒引当金繰入額	10,026	-
その他	417	571
営業外費用合計	27,944	14,096
経常利益	767,313	489,654
特別利益		
投資有価証券売却益	-	480,209
固定資産売却益	922	275
その他	-	19,610
特別利益合計	922	500,095
特別損失		
固定資産除却損	6,591	59
特別損失合計	6,591	59
税金等調整前四半期純利益	761,643	989,690
法人税、住民税及び事業税	186,653	232,890
法人税等調整額	3,283	51,153
法人税等合計	189,937	284,043
四半期純利益	571,706	705,646
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	571,706	705,646
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	276,741	△472,386
為替換算調整勘定	△111,242	△125,890
退職給付に係る調整額	△11,725	△21,652
その他の包括利益合計	153,774	△619,929
四半期包括利益	725,480	85,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	725,480	85,717
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	761,643	989,690
減価償却費	148,902	192,704
のれん償却額	65,739	66,623
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,026	5,761
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14,817	2,665
その他の引当金の増減額(△は減少)	△351	5,377
受取利息及び受取配当金	△11,185	△9,651
支払利息	17,500	13,525
為替差損益(△は益)	△15,712	7,482
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△480,209
有形固定資産除却損	6,591	59
固定資産売却損益(△は益)	△922	△275
その他の特別損益(△は益)	-	△19,610
売上債権の増減額(△は増加)	153,712	647,901
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,627,710	△506,557
仕入債務の増減額(△は減少)	611,080	△346,322
その他	△91,475	△389,219
小計	13,022	179,945
利息及び配当金の受取額	11,184	9,668
利息の支払額	△17,413	△12,930
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△373,463	△285,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	△366,669	△108,813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△168,912	△56,834
有形固定資産の売却による収入	922	275
無形固定資産の取得による支出	△110,838	△123,857
投資有価証券の売却による収入	-	492,547
長期貸付金の回収による収入	1,106	1,991
その他	△2,180	△1,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△279,901	313,006
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△250,000
長期借入金の返済による支出	△230,000	△100,000
自己株式の売却による収入	2,431	-
自己株式の取得による支出	△210	-
配当金の支払額	△131,700	△164,727
リース債務の返済による支出	△367	△28,265
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,846	△542,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,199	△44,932
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,052,617	△383,730
現金及び現金同等物の期首残高	3,805,002	3,245,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,752,385	2,861,900

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

- 1 米国会計基準を適用している在外子会社は、第1四半期連結会計期間より、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の利益剰余金の期首残高は72,266千円増加しております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

- 2 国際財務報告基準を適用している在外子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「リース資産」が60,523千円、流動負債の「リース債務」が41,283千円、固定負債の「リース債務」が19,529千円それぞれ増加しております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、「電子機器事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。